



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1068

03.09.2023 (134)

国民共同体とエリート主義の間のリーダーシップ

From Michael Kühnen

THE HUMAN

政治家の功績と過ちの背後に、後述する総統の地位のあらゆる側面の背後に、アドルフ・ヒトラーという人間がいる。我々と同様に、喜びと悲しみ、熱狂と悲劇、希望と絶望を知り、経験した人間である。未熟な労働者であり、完成された教育を受けておらず、第一次世界大戦で名もなき兵士として義務を果たした人、ドイツの敗戦の悲劇から力と決意を得て政治家となり、ドイツの運命を好転させた人！。

何も彼を可能にするものではなく、何も彼を助けることはできないように思えた。金もなく、世間での地位もなく、影響力のある友人もなく、背後に大きな政治運動もなかった。彼は一握りの人間のリーダーとなり、そこからNSDAPを結成して、国民の心を征服し始めた。この闘いは13年間続き、名もなき男はドイツの首相になった。6年後、彼は紛れもなく国民のリーダーであり、大ドイツ帝国の創造者であった。この帝国は、かつて分離されていた領土から数百万人のフォルクゲノセンを連れ帰り、ベルサイユ独裁を乗り越え、ヨーロッパのすべての政治をその周辺で展開させた。

ピレネー山脈からコーカサス山脈まで、北岬からエジプト国境まで、彼の権力は拡大し、彼の言葉だけが有効だったのです。しかし、彼の残された数年の間に、ほぼ全世界が、この一人の男を打倒し、滅ぼすためだけに、陰謀を企て、世界の一部が動き出した。それは、ヨーロッパとその世界的地位を破壊する代償として、また、この世界を支配する背景となる権力がこの男に耐えられないと考えたために犠牲になった数百万人の死者の代償として、成功した。彼は死に、倒れることになった。

しかし、彼の精神は生き続け、彼の思想は、かつて彼が軍事的に支配した地域をはるかに超えて、若者たちに広がり、支持されています。彼の後継者や信奉者は、ヨーロッパ以外にも、北南米、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど、白人が住む場所に集まっています。死者である彼の言葉は、彼が最も力を発揮していた時代よりもさらに遠くまで届いているのだ

なんという男だ!なんて男なんだ!!! どんな人だったのだろう。何が彼を可能にしたのか、何が彼の特別なところだったのか。アドルフ・ヒトラーとは何者だったのか?

ウィーンの不幸が始まった頃から彼を知り、この数年間を共にした幼なじみのクビツェクの思い出が、彼の人となりを示し、世界を変えるほどの強い性格になりつつあることを示しています。この男を突き動かしたのは権力欲でもなく、個人的な野心でもなく、圧倒的な使命感、つまり、自分の経歴や学歴や財産によって課せられた制限よりも強い運命の仕事への意識が彼を満たしたのです。

この超人的な力は、まず彼の友人によって感じられ、後に彼の国民全体と他の多くの人々によって感じられました。アドルフ・ヒトラーは、自らの意思で、注意深い精神に揺るぎない意志を加え、次第に温和な特徴を持つようになったが、何よりも芸術家としての人生に対する態度、世界と人生に対する美的理解を持つようになった。

このような芸術家の自己理解なくして、アドルフ・ヒトラーという人物を理解することはできない!彼の中には、創造的な悪魔が宿っており、その途方もないエネルギーと情熱は、天才的な頭脳と鋼鉄の意志によってのみ

飼いならすことができ、芸術家の美、調和、自由と偉大さへの深い憧れが伴っていた。何世紀にもわたって計画した建築の名人として、アーリア人の高度な文明の更新者として、人間が再び真の神の像となり、完全な人格となるべき生命の秩序の創造者として-これがアドルフ・ヒトラーの気持ちであり、彼の闘いの真の目標であり、私たちへの彼の遺産である-「指導者」である男の遺産である!

THE CONQUER

第三帝国は征服の上に築かれた大帝国の一つであり、アドルフ・ヒトラーは、アレクサンダー大王、カエサル、ナポレオンといったインド・ヨーロッパ人の優れた征服者たちの、おそらく最後の一人であると解釈することができる。カエサルやナポレオンもそうだが、歴史的には、アーリア人、先史時代のアジアへの征服作戦の指導者たち、ゲルマン民族の移動時代の公爵たち、スペインやポルトガルの征服者たち、その他のヨーロッパの植民地帝国の創造者と闘士たちが属する。

中世のドイツ・ローマ帝国の第一帝国の皇帝の権力が崩壊して以来、このような人物はドイツの歴史では珍しくなっていた。ドイツの戦争は、恫喝戦争や外国の攻撃に対する必死の防御だった。アドルフ・ヒトラーによって、ドイツ国民は再び力と若さを取り戻したのである。剣を手に新しい土地を征服し、新しいフロンティアを求め、文化を肥沃にする-こうしたアーリア人の移住と征服の痕跡は、世界中の至る所で見つけることができる。この観点からすると、征服者アドルフ・ヒトラーの第三帝国は、国境を認めず天を衝くアーリア人種の、戦争的だが文化的に創造的な歴史のほんの一部に過ぎないのである。このように、アドルフ・ヒトラーが戦争を望み、無謀にもそれを解き放ち、さらには挑発したことを認めるのだろうか。

彼は西洋に対して、フランスに対して、アメリカに対して、そして何よりも、彼が愛し、その帝国を賞賛し、維持したいが破壊したくないイギリスに対して戦争をしたくなかったからである。この西側への戦争は、現代の西側政治を支配しているプルートクラテス・シオニストの背景勢力によっ

て、彼に強要されたものである。アドルフ・ヒトラーは、長い間何度も何度も協定を結ぼうとしたポーランドとの戦争も望まず、ソビエト連邦に対する同盟国として勝ち取ることを最初に望んでいた。アドルフ・ヒトラーが本当に望んでいたのは、たった1つの戦争だった。この戦争によって、世界はボルシェビズムの災いから解放され、ドイツ国民のために新たな生活空間を獲得することになるのだ。

この点で、この指導者は、よく比較される他の偉大な征服者と最も明確に異なっている。ナポレオンです。ナポレオンはヒトラーのようにイギリスとの戦争を望んでいなかった。彼が本当にロシアとの戦争を望んでいたかどうかは、まだわからない（多くの歴史家は、イギリスがまだ期待できる最後のヨーロッパの大国を破り、遠い帝国の国境まで押し進めることによって、イギリスに平和を望むようにするための必死の試みとしか見ていない）。いずれにせよ、このロシア戦争は、ナポレオンにとって心の熱い出来事ではなく、ボナパルト王朝の新しいシーザーのもとで、新しい「ローマ」帝国を作るためにヨーロッパ大陸の戦争を望んでいただけだった。

帝政フランスの征服も、若返った熱狂的な民衆の力の爆発であったが、それはこの民衆の真の生活必需品ではなく、征服した皇帝の野心と歴史的偉業への憧れに奉仕するものであった。

履歴書の外見的な共通点から、ナポレオンとの比較は、むしろ誤解を招く。カエサルとの比較も、カエサルの仕事が権力政治の面で長続きしなかったため、どこにもつながらない。最も分かりやすいのは、アレキサンダー大王との比較である。

彼はわずか数年の間に、征服によって巨大な帝国を作り上げ、彼の死後すぐに崩壊したが、それとともに彼は、アレキサンダーが征服した地域を何世紀にもわたって形成することになる文化、生活態度-ヘレナリズム-を広めたのである。

アドルフ・ヒトラーは、ドイツ国民の指導者として、ドイツ国民のために世界の権力の座を獲得し、彼らの未来を永遠に確保しようと考えた。その

ために、彼は国家社会主義の世界観を決定した。それは、新たに獲得した権力に対して、我々の国民を強く、熟練させることであった。

なぜなら、この新しい戦闘的な生活態度と先見の明のおかげで強くなるのは、他の民族ではなく、ドイツ人だけだったからである。そして、新しいインド・ヨーロッパ人の征服者のドイツ軍は、資本主義の戦争屋が無謀にもこの戦争に突入させた国々と、ドイツのインドとなるべきソビエト連邦に対して、進軍したのである。これらの軍隊は、国家社会主義の名の下に進軍し、その権力の絶頂期には、ノルウェーとデンマーク、ベルギー、オランダとフランス、ポーランド、ハンガリー、ルーマニア、チェコ共和国とスロバキア、旧ユーゴスラビアの人々、アルバニアとギリシャ、イタリアとエジプト国境までの北アフリカ、コーカサスとモスクワの門までの広大なロシアで、この征服者の秩序が通用した。スペインとフィンランド、アラビア、ペルシャ、トルコの人々、大英帝国の抑圧された人々、イングランドに敵対するアイルランド、我々アメリカの搾取に苦しむ南米と中米の人々は、彼の勝利をひそかに望み、誇り高い日本とそのアジアの同盟国は彼と共に鉄の戦線に立った。

総統はドイツ国民をあのような高みへと導いたのです!私たちはそのことを決して忘れてはならない。

到達した位置があまりにも高かったため、没落は深かった。この栄光の帝国には、何も残らなかった。歴史上よくあることだが、運命は英雄と実行者を欺いたのである。

総統の征服作戦の結果は、国家社会主義の世界観に基づいて、ドイツ民族の世界権力の地位を恒久的に確保したことではなく、この国家社会主義の世界観を世界中に広めたことであった：ドイツの兵器が恒久的に所有できなかったものを、この思想が取り戻し、追加し、それによって、自由と誇りと種の意識を持った民族の新しい世界秩序を築くのだ！。

国土無双

国家社会主義が戦争を意味する、あるいは国家社会主義者が戦争を望んだという非難ほど不合理なものはないでしょう。

国家社会主義は、生物学的世界観であり、闘争と淘汰は、ブルジョア平和主義では中断できない自然の基本法則に属し、それは民族の生活にも適用される。種の保存と発展は、何もしないことによって確保されるものではなく、民族の生存と発展の可能性は、空から降ってくるものではなく、戦わなければならないものである。だからこそ、国家社会主義は闘争的な世界観であり、闘士として、政治的兵士として、わが民族の生命をかけた闘いの担い手となるべき英雄的人物を形成するのである！

しかし、闘争と戦争は同じではない。他のすべてのものと同様に、闘争は、もっぱらわが民族の種の保存と発展に役立ち、この目標の邪魔になるものはすべて排除するのであるしかし、長い間、戦争は技術的な大量殺戮に墮落し、もはや最良の者の選択を促すものではなく、まず最も勇敢な者、最も闘争的で性急な者を食い尽くし、最も臆病な者、怠け者、大衆を残す逆選別を開始する。ドイツ人が今日これほどまでに退化しているのも、二度の世界大戦が優秀な国民を駆逐してしまったからである。このようなことが現代の戦争全般に当てはまるのであれば、原子爆弾は、少なくともヨーロッパでは、戦争によってわが民族の生存と発展を確保しようと考えることを不可能にしている。武器の闘争は、思想の闘争に道を譲る。国家社会主義は、ドイツ民族の大砲とその到達点の上にその秩序を築くのではなく、ヨーロッパ民族を自らのために獲得するのである。

しかし、もし私たちドイツ人が、指導者アドルフ・ヒトラーを、たとえ征服者アドルフ・ヒトラーであっても、誇りに思うのであれば、それは、彼がしなければならなかった戦争を再開したいということの意味しない。そのための前提条件はありません。それは、私たちの国民の生命を促進することではなく、恐ろしい危険にさらすことでしょう。しかし、ナポレオンを国民的英雄と称えるフランス人は、彼の戦争を繰り返したいと思っているのだろうか？いや、フランスをその権力と栄光の絶頂に導いた人物を尊敬しているのだ！国民的英雄の中で、国家は再び自分自身を発見し、その偉大な人物の中で、自らの力と偉大さを称え、健全なプライド、名誉、偉大さ、栄光への感情を育み、自らの歴史の力の源につながり、そこから現

在を形成し未来を勝ち取るエネルギーを引き出しています。ドイツ国民もまた、自らの歴史の力の源泉から切り離されたために、名誉や誇りの感覚を持たず、活力を失い、とても落ち込んでいる。ドイツ国民がこの歴史に立ち返り、偉大な人物の中に自らを認識し、過去の偉大さと力を再び認識することによってのみ、このすべてを取り戻すことができる。この観点からすると、アドルフ・ヒトラーは「ドイツのナポレオン」であり、ドイツ国民を権力、栄光、強さの最高の頂点に導いた国民的英雄である。そして、ナポレオンが最終的に敗北したのと同じように、アドルフ・ヒトラーが権力政治に失敗しても、そのような人物を神話にすることはできない。

ドイツの国家社会主義者たちは、このような発展を奨励している。彼らは、扇動と墮落の最も暗い時代でさえも、総統への忠誠を揺るがすことはなかった。アドルフ・ヒトラーを国民的英雄として尊敬し、称える者だけが、真の国家社会主義者と言えるのである

しかし、総統の名前は、彼が決定的に形成し、勝利に導き、その政治的生涯を通じて彼が体現した思想と、不可分に結びついているのだ！ もう一度指摘しておく。もう一度、指摘しておきます。総統へのコミットメントは、政治家の言動をすべて支持したり、模倣したりすることを意味するものではありません。アドルフ・ヒトラーは、具体的な政治的対立の枠組みの中で、非常に特殊な歴史的条件のもとで行動し、誰もがそうであるように、間違いを犯す可能性があったのです。このような間違いのうち、決定的なものについては、前述で詳しく説明したとおりである。私たちが賞賛に値するのは、政治家アドルフ・ヒトラーではなく、神話であり、民族の英雄であり、私たちの歴史の完成者なのです。

この国民的英雄への発展は止めようがなく、反独勢力のどんな政治的プロパガンダもそれを阻止することはできない。ナポレオンもまた、「血まみれの獣」と罵られた後、数十年後、パリで国民の喝采を浴びながら、威厳ある姿で国民的英雄として最後の眠りにについている。

そしていつの日か、私たちが今も心の中で総統に建てる記念碑がドイツの都市を飾り、ドイツ人は、国民のために犠牲的な死を遂げた最大の英を正当に評価し、彼の遺産を完成させるために形成されている神話から



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRITZ UND NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934
April 1947 (2. Aufl.)

Der Kampf geht weiter!

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da in Form der Volkstugend. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Völkermord und Verbrechen haben nicht angehalten, das Kreuz der goldenen Aue unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entdecken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter und Kameradschaften als Schüler an Schulen im Kampf um die Erlangung unserer völkischen Ziele. Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des hochgeliebten Volkstades ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die völkische Bewegung ist ein Akt, der Völkermord - gegen alle wissen Völkern - zu begreifen. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überflutung und Kameradschaft.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg bzw. auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2022 (133)

The Fight Goes On!

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!